



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和 7 年度 第 4 回算数・数学科授業研究会

- 日 時：令和 7 年 11 月 25 日（火）13：10～16：30
- 会 場：南相馬市立鹿島中学校（南相馬市鹿島区寺内字落合 28 番地）
- 参加者：小学校教員 2 名、中学校教員 8 名 計 10 名
- 内 容：○算数・数学科イノベーション人材育成推進教員による公開授業
（図形の性質と合同）授業者 南相馬市立鹿島中学校 教諭 横道 喬
○グループ別による事後協議会
○講演・指導助言「数学の授業における生徒と教師の取り組みに学ぶ」
福島大学人間発達文化学類 教授 森本 明 様

【研修のまとめ】

事後協議会では、参観者のみなさんが授業者の思いや本時の手立てを尊重し、授業者の努力や工夫を積極的に
見つけたり、授業者の問いや悩みを自分事として受けとめ、授業改善に向けた建設的なアイデアを焦点化して伝え
たりする姿が見られたことが大変有意義でした。今後も効果的な伴走支援の推進に努めますので、各校の事後協議
会においては、授業者が納得して更なる授業改善意欲を高めたり、参観者が授業者の手立てや子どもの事実に基づ
いて自分事として学び合うことで自身の授業改善を見つめ直したりする時間を模索していただきたいと思います。

〔授業のポイント〕

- 見通しや問題解決の段階で効果的な学習を進めることを目的にペア学習を設定
したり、これまでの学びや生徒の考えを引き出すことを目的に予想活動を重視した
コーディネートを意識したりすることで、説明活動の充実を図ることができた。
- 式や数だけではなく、言葉や図、表も数学的な表現として関連付けながら取り上
げることで、生徒が事象の本質を捉えたり学習理解を深めたりできるように努めた。

〔森本先生の指導助言より〕

- 思考の対象を明確にすることを、これまで以上に重視していく必要がある。（例）特殊な場合の多角形 → 一般の
場合の多角形も取り上げる、 180×2 （四角形の内角の和）の「 180° が 2 つ」について図で丁寧に確認する等
- 生徒が実世界と記号を結び付けて理解するまでには時間がかかることを前提に、記号を含めた言語化の世界を
広げていく指導を考える必要がある。



研修の感想

- 単元に関わる小学校の内容を含めた既習事項をきちんと確認し、それを踏まえて授業づくりに取り組む大切さを学びまし
た。
- 課題をペアで確認したり、説明のための準備の時間を取り入れたりすることは、すぐに実践してみたいと思いました。
- 教材研究をする際に、数学の楽しさ、すごさをまずは生徒たちと共有できるようにしたいと感じました。
- 思考の対象を明らかにし、物事の意義や根底を探る動きが大切であることを学びました。授業の中では、課題を明確に
して進めるようにしていこうと改めて考えさせられました。

